

守谷市の財政健全度チェック！

— 平成 25 年度守谷市の健全化判断比率・資金不足比率について

問合せ先 市役所財政課 内線 212、213

会社に例えると、倒産にはならないが経営状態があまりよくない会社にあたるのが「早期健全化団体」で、倒産にあたるのが「財政再生団体」です。「財政再生団体」になると、国の手助けと管理により財政再生に向けて取り組まなければなりません。

＜「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」って・・・？

地方公共団体は、「早期健全化」と「財政再生」の２段階で財政悪化をチェックします。また、特別会計や企業会計も併せた連結決算により財政状況を明らかにしようとするものです。



☐ Check!

早期健全化基準は、下記表の４つの「健全化判断比率」のうち将来負担比率を除いたいずれかが基準以上になるとイエローカードとなりますが、守谷市の場合、平成 25 年度決算で計算した結果、いずれも基準を下まわっており、財政状況は健全段階にあるといえます。

☐ Check!

財政再生基準は、下記表の４つの「健全化判断比率」のうち「将来負担比率」を除いたいずれかが基準以上になるとレッドカードとなりますが、守谷市の場合、平成 25 年度決算で計算した結果、いずれも基準を下まわっており、財政状況は健全段階にあるといえます。

☐ Check!

資金不足比率は、「水道事業」「公共下水道事業」「農業集落排水事業」のいずれも、資金不足額がないため、問題ありません。また、経営健全化基準は 20%と、財政状況は健全段階にあるといえます。

守谷市の健全化判断比率

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
健全化判断比率	—	—	6.8%	—
早期健全化基準	13.08%	18.08%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.00%	30.00%	35.0%	

※赤字額がないため、実質赤字比率及び連結実質赤字比率は「—」と表示しています

※将来負担額を充当可能財源が上回るため、将来負担比率は「—」と表示しています

※実質収支は 16.5 億円（14.0%）の黒字、連結実質収支は 75.7 億円（64.1%）の黒字です

※それぞれの比率は、標準財政規模（地方公共団体が自由に使えるお金の大きさを示す指標）に対する割合です

守谷市の資金不足比率

	水道事業	公共下水道事業	農業集落排水事業
資金不足比率	—	—	—
経営健全化基準	20.0%		
指標の説明	公営企業の資金不足を、公営企業の財政規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示します。		

※資金不足額がないため、資金不足比率は「—」と表示しています

守谷市の財政力指数は、県内 5 位！

★財政力指数 0.97
は全国で 50 位！
(平成 24 年度)



財政力指数とは、標準的な行政活動を行うために必要な財源を、どの程度自力で調達できるかを見る指数です。指数が高いほど財源に余裕があるといえ、1 を超えると普通交付税の不交付団体となります。平成 24 年度は、財政力指数が 0.97 となったため交付団体となりました。（全国 789 都市平均は 0.52 ※平成 25 年度は未発表）

もっと詳しく・・・

市の健全化判断比率・資金不足比率についての詳細は、市ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

